

技術・研究分野 | 調査・研究 341
イメージ心理量を測るツール
 拓殖大学、愛知県立大学、首都大学東京、佐賀大学、甲南女子大学、(株)KANSEI DESIGN



概要
 人のイメージ心理量を物理量に置き換えて評価できるツールです。入院患者の心理的ダメージ量を捉えることは処置治療にとって重要課題ですが、看護師など医療者の主観的評価に委ねられているのが現実です。直感的に、しかも評価されているという感覚を極力減らして、子ども自身が今の心理量を表現でき数値化できるツールが必要であると考えて開発しました。

◆仕様:球体ツール・立体ツール・容積ツール・カードツール・メジャーツールの木製5点セット、価格:応談(受注生産)、入手先:株式会社KANSEI DESIGN
 KAKEN:https://kaken.nii.ac.jp/d/p/24390132.ja.html

評価ポイント 心理量を重さや面積、長さなど物理量として評価できるツールを開発し、定量化を試みた研究でオリジナリティが高い。木質空間の快適性研究などに活かせるものである。

技術・研究分野 | 調査・研究 338
木の家セラピー
 エコワークス(株)



概要
 「木の家セラピー」とは、住宅の構造材・内装材に使われる木材の香りにより「健康維持・増進」を目指すとともに、その効果を多くのお客様にお届けしたいという、私たちの“住まいづくりへの想い”でもあります。提唱のきっかけは、「家にいるとリラックスできる」「よく眠れるようになった」など、多くのお客様のお声でした。その声をもとに、学識経験者と共同研究を行ったところ、「人工乾燥材」に比べて「天然乾燥材」の香りがもたらすココロとカラダへの癒しの効果が高いことが証明されました。

◆http://www.eco-works.jp/

評価ポイント 大学連携によって、天然乾燥と人工乾燥による木材のリラックス効果の違いを測定しており、新規性がある。木材流通システムとの組み合わせである点も有効。

技術・研究分野 | 試作品・展示用製作物 342
バネバネの木の椅子 クルビス
 (株)イトーキ、秋田県立大学 木材高度加工研究所、(有)萩原製作所、(株)HUG、国立研究所開発法人 医療基盤・健康栄養研究所



概要
 積層合板を互い違いに組み合わせることで木材にバネ性を持たせる研究及び技術は開発されていたものの、その技術を世の中に提供する術を模索していた当時東京大学の足立先生と、木材を使った家具を手がけるイトーキが手を組んで生み出したのがバネバネの椅子「クルビス」です。合板には柔らかさを生み出す針葉樹(スギ)と強度を生み出す広葉樹(ブナ等)を複合しており、強度計算のもと生まれた独特の構造により、木材特有の「揺り」と「強さ」が、新しい座り心地と人が座っても壊れない強度を両立しています。

◆入手先:株式会社イトーキ

評価ポイント 生活の中で座りながら健康増進を図る、というテーマの楽しい椅子である。運動器具としての展開可能性もある。積層合板の耐荷重データが欲しい。

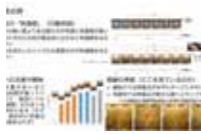
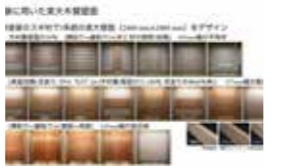
技術・研究分野 | 調査・研究 339
木の家と健康を科学するプロジェクト
 九州大学 農学研究院、九州大学、近畿大学、福岡女子大学、安成工務店、トライ・ウッド



概要
 本物の無垢の木を用いた住空間は、人の心と体にどのように働くのか。それを解明するために、無垢材である「津江杉」を内装に用いた建物(無垢材棟)、表面が塗装やクロスで覆われている新建材を用いた建物(新建材棟)の2棟を建設しました。空間の温度・湿度や揮発性成分といった物理・化学的条件を測定でき、さらに空間に滞在した際の人の生理心理応答を測定・分析することが可能となりました。目に見えない木の良さ、すなわち、匂いや調湿作用の効果が際立つ結果となり、より本質的な木の良さに関するデータの取得が可能となりました。

評価ポイント 多岐の分野にわたる研究者と木の家づくりをしている事業者の連携によって、客観的なデータ分析を行なっている。木の良さを訴求するうえで有用な研究である。

技術・研究分野 | 調査・研究 340
木質住環境の見えるが生理・心理・認知反応に及ぼす影響
 京都大学 生物材料設計学分野、京都大学 生存圏研究所



概要
 人が直接見たり触れたりする部分に積極的に木を使うことは大歓迎です。しかし、量だけでなく「木をどう使えば人によいか」という質的発想にも基づいて木質住環境のデザインがなされるべきです。「木がどのくらい見ればよい?」「縦貼りと横貼りでどちらが快適?」「節が見えるとダメ?」のような単純なデザイン因子であっても、これらが居住者に及ぼす影響は客観的にほとんどわかっていません。現代の住空間に木材をどのように実装すれば人に好ましい影響を及ぼすのか、科学的なデータに基づいて示すために、実験的な検討を行いました。

評価ポイント 木の有用性のなかで、視覚に関連するデータの解析を行ない、成果を上げている。空間デザインや内装設計などに貢献する知見である。

技術・研究分野 | 試作品・展示用製作物 335
紀州材「KINOKUNI OFF-GRID TINYHOUSE」
 (株)TREE、GWorks、白樺木材、自エネ組



概要
 和歌山県木材協同組合連合会、森林組合連合会、建築士会などで行く「県木造住宅生産体制強化推進協議会」による紀州材PR事業の一環として、オール紀州材によるタイニーハウスを試作。弊社は太陽光エネルギーによる完全独立型電源ユニットを装備した『KINOKUNI OFF-GRID TINYHOUSE』をデザイン施工した。国産材の利用促進に資するほか、独立電源を装備し災害時のインフラ危機に耐える多目的な価値を有するハウスを提案した。

◆仕様:高さ3,300×奥行2,920×幅1,820mm(2棟)、価格:未定、入手先:(株)TREE http://tree.vc/pressrelease/181.html

評価ポイント B材、C材を構造材に使うという試みは新規性がある。用途開発は今後の課題であろう。太陽光発電、LEDは有効だが、断熱性を高めることが前提となる。

技術・研究分野 | 試作品・展示用製作物 336
再剥離可能な国産無垢材のタイル
 飛騨五木(株)



概要
 アパートなど一般住宅の壁(主に塩ビのクロス)などに貼り、また剥がすことができる「簡易DIY」の木材タイル。気軽に木質空間や木材による部屋のアクセントをすることができ、飽きたら気軽に剥がすことができる商品を試作・開発中。近年急増しているDIYリノベーションのニーズやDIYすることができる賃貸住宅も増えている現状を受け、気軽に木材を室内空間に取り入れられる商品提案。裏面にはポスターや張り紙感覚で再剥離ができるような素材の糊を使用する。

◆価格:オープン価格、入手先:自社ECサイトなど

評価ポイント 部屋のアクセントとして使い、サイズや形状の組み合わせでデザインにも変化が出せる。貼って剥がせるという特性は画期的。木の軽量性も生かされている。

技術・研究分野 | 試作品・展示用製作物 337
デザイン性を向上させる木材の独自工法・加工法
 森工房



概要
 ①クアッドポッドテーブルは天板と脚4本の最小パーツで強い硬度を出せる1点結合型の四方転び②フラワースツールは薄い一枚板を4分割し再構成した深い座面と角材を上部4分割してねじった軽く美しい脚③ツイストコートスタンドは角材を上部4分割、下部9分割した螺旋形状の美しい柱④ノックダウン可変棚はネジ・工具不使用で分解可能な開放的な片持ち式の棚。

◆仕様:①68×70×68②30×45×30③33×133×33④90×132×30、価格:①60,000②36,000③36,000④160,000(円、税別)入手先:森工房
 http://homepage2.nifty.com/morikobo/

評価ポイント 独自の加工法を元に試作された製品はいずれもデザイン的に優れ、曲線の出し方も巧みで可能性が感じられる。木を割り、断面を利用するという考え方がユニークである。